読書会 他人と感動共有

生活調べ隊

本を読んで感想を話し合ったり、内容を基に対話したりする「読書会」が静かなブームだ。1人で読むのとは違い、他の人の読み方や発想に触れて理解が深まるほか、新しい仲間との出会いの場にもなっているという。どんな交流をしているのか、のぞいてみた。（斉藤保）

東京都渋谷区のカフェで10月下旬、太宰治の小説「人間失格」を課題にした読書会が開かれた。日本最大級の読書会「猫町倶楽部」（名古屋市）が主催し、約70人が集まった。

参加者は8人ほどのグループに分かれ、自己紹介の後、進行役を決定。お茶やケーキを味わいながら、「以前読んだ時と、感情移入する人物が違った」などと感想を述べ合い、「人間の駄目っぷりに勇気づけられた」との意見が出ると、「そういう読み方もあるのか」と驚きの声も上がった。

2時間ほどの会が終わると懇親会に。この日の参加費は、読書会が税抜き2000円、懇親会は同4000円。2年ほど前から参加する都内の会社員、麻谷俊介さんは「社会人になると読書の感想を話す機会がない。本をきっかけに異業種交流会より実のある話ができる」と、楽しさを語った。

同倶楽部は2006年、リフォーム会社を営む山本多津也さん(54)が知人3人と喫茶店で始めた勉強会を機にスタート。「一方的に話を聞く会ではなく、自分から話す楽しさに目覚めた」と山本さんは言う。「他人の考えを否定しない」など参加ルールも決め、ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)で告知すると、見ず知らずの若者も加わり始め、08年に会員1000人を突破。現在、全国5か所で年間200回開催し、延べ9000人が参加するまでに広がっている。

山本さんは「インターネットの進展で誰もが好みの情報に囲まれながら、孤独を感じている。本を通して人とつながる読書会は、そんな現代人の居場所としても機能している」と、人気を分析する。

◇

読書会には、書店が商店街で開催するものや朝の勉強会など、様々なタイプがある。その中で、「行動するための読書会」を掲げているのが「リードフォークション」（東京）だ。同会は11年の東日本大震災を機に発足。課題本を基に同様の問題意識を持つ人たちと交流し、自分の目標や地域の課題解決に向け、行動を起こすことを重視する。

10月末の会合には、東京をメイン会場に、仙台市や広島市、英国やベトナムなどをネットで結び、国内外10か所で計150人が参加した。参加費はそれぞれ異なり、東京は税込み3300円、オンラインは無料だ。

この日の課題本は、心理カウンセラーの中島輝さんの「自己肯定感の教科書」。参加者が気になるキーワードや本の内容を1分間に要約して発表した後、登壇した著者に「息子に自己肯定感を持たせるには？」などの質問が相次いだ。都内のキャリアコンサルタント、山下いずみさん(45)は「就職氷河期世代を応援するヒントを得たいと参加した。対話することで自分の目標が明確になった」と話す。

同会には年間で延べ1万人以上が参加し、会をきっかけに、女性会社員が子育て漫画を描いたり、中学教諭がインドネシアの学校支援を始めたりと、一歩を踏み出したケースも出ている。

◇

こうした読書会ブームの一方で、文化庁が2～3月に行った「国語に関する世論調査」によると、「1か月に1冊も読まない」人が47％に上るなど、読書離れは進んでいる。

「本は絶対、1人で読むな！」の著者で、年間3000冊を読んでいる作家の中島孝志さんは「読書は人生をより豊かにしてくれるもの。1人で読むのと違い、読書会には他人の感動や知恵を共有できる醍醐味がある。読書のきっかけ作りに参加するのもいいのでは」と話している。

右ページに関連記事▶▶▶

「猫町倶楽部」の読書会で、太宰治の「人間失格」を読んだ感想について話し合う参加者たち（東京都内で）

◆「読書会」を楽しむコツ
- 他人の考えを否定しない。違いを受けとめ、自分を客観的に見る
- うまく発言できなくてもいい。思っていることを口に出してみる
- 課題本の内容が少し難しくても、脳を刺激するために挑戦する
- 慣れてきたら、交代で進行役を務めてみる

（山本多津也さんの話から）

深まる作品理解 ＊ 新たな仲間作り

「転売で稼げる」虚偽広告

消費者庁 注意呼びかけ

「超簡単スマホで錬金術」「年収1000万円超えをクリアして頂きます」といった虚偽広告で消費者に金を支払わせたとして、消費者庁は消費者安全法に基づいて「WAVE」（東京都新宿区）の企業名を公表し、注意を呼びかけた。

同庁によると、同社は2018年12月以降、自社ウェブサイトに虚偽広告を掲載し、消費者を勧誘。実際には購入していない商品に、利益を上乗せして米国の大手通販サイトに出品し、買い手がついた後で商品を購入して転売して差額を稼ぐ、などとするマニュアルを1万円程度で提供していた。さらに、販売をサポートするためとして、8万～150万円の7段階の有料プランに加入させた。多くの消費者には、全く売り上げがなかった。

同社は同庁に対し、「8月までに約8200人から計約7億7000万円を売り上げた」と説明している。

くらし 家庭

ぷらざ

大目に見てほしい

最近、電車に乗るとよく席を譲られる。

「大丈夫ですよ」と言うが、「どうぞ」とまた勧められるので、ありがたく座らせていただく。そして思う。

生前の母にだんだんと似てきているので、老けて見えるようになったのだろうか。姿勢が悪くなってきて、やつれて見えるのだろうかと。

席を譲ってくれた若い人は、本当はかなり疲れているのかもしれない。仕事でつらい思いをして、座って目をつぶっていたかったのかもしれない。なのに、私と目が合ってしまったばかりに、心優しいこの人は、年寄りを無視できなかったのだろう。

席が空いていれば座りたいが、人を押しのけてまで座りたいとは思わない。ましてや、私が乗車するのは、ほとんど遊びの行き帰りなのだから。「年を取るだけで、周囲に気を使わせ、迷惑をかけてしまうものなんだな」と、この頃思う。

でもね、若い人たちもいつか年を取り、誰かに迷惑をかけることになる。そう思って、大目に見てほしいと願っている。

（千葉県八千代市・小野沢旬子 71）

人生案内

母が「女の孫はいらない」

海原 純子（心療内科医）

もうすぐ1歳になる娘を育てる30代主婦。母親との関係で悩んでいます。

妊娠を母親に報告した時、「女の孫はいらないから」と言われました。違和感を覚えましたが、里帰り出産で世話になると思ってぐっとこらえました。

出産後、実家で過ごしました。今考えれば、私や娘の世話、私の夫が泊まりに来た時の負担などがあり、申し訳なかったと思いますが、母は「男の子を産んでくれると思っていたのに」と言い、泣きやまない娘のことも「頑固過ぎて大変」と否定します。

全てを否定されて追い詰められ、私はけんか別れのような形で自宅に帰りました。それ以来、一切連絡は取っていません。

なぜ性別に固執し、娘にひどいことを言えるのかと思い、憎しみの気持ちが残ります。母から言われて傷ついたことが頭の中を巡っていて、娘を見るたびに苦しくなります。今後どんな気持ちで過ごせばいいでしょうか。

（東京・B子）

母親との関係についてのご相談ですが、「あなた自身が母親とどうしたいのか」がわかりません。

どんな気持ちで過ごしていきたいのかを決めるのはあなたです。あなたがどうしたいのかという方向性を示さないと、相談にお答えするのは難しいのです。

仮にあなたが「幸せで心穏やかに過ごしたい」と希望しているとしてお答えしますが、まず、自分と子どもの気持ちを傷つける相手とは距離を置くことが必要でしょう。

母親が女の孫はいらない、と言ったことで、あなたがつらい思いに陥っていることは十分理解できますし、最も手助けをしてほしい母親からそう言われたことで、どんなに傷ついたかも想像できます。

しかし今、あなたは子を育てる母なのです。子どもを守り育てるため、あなた自身が強く、しっかりと生きなければなりません。

母親に言われたことを引きずって悩むのはやめ、母親が歩み寄ってくる時以外は母親のことで心を煩わせない、と決めてはいかがでしょう。あなたを支えてくれて気持ちを分かち合える、母親以外の人との関わりを広げることも大切かと思います。

人生案内相談募集

生活上の悩み全般が対象。純粋な法律問題や病気の相談などは扱いません▽相談は800字程度。規定の行数に整理して掲載▽回答は紙上のみ。個別の相談、要望にはお答えしません▽二重投稿は不可▽プライバシー保護などのため、相談者、回答者への手紙の転送などには応じません▽掲載は匿名ですが、氏名、住所、年齢、職業は明記を▽掲載分は電子メディアや出版物などで公開することがあります▽送り先は、〒100・8055読売新聞東京本社生活部「人生案内」係。メールはjinsei@yomiuri.com。読売新聞オンライン（https://goo.gl/Vd3JPj）からも。